

鉄道友の会

西鉄研究会報

VOL.4

2015年10月18日号

西鉄研究会は10月18日、西鉄の「にしてつ電車まつり」に初参加し、会場の筑紫車両基地施設で写真展を開きました。

同写真展には会員10人がそれぞれの力作を出品。天神大牟田線の8000形の各ラッピング電車やローレル賞受賞の2000形と3000形、最近注目され始めた5000形、今年引退した貝塚線の313形、廃止された福岡市内線や北九州線の路面電車に花電車などA3判のカラー写真31点を展示しました。

「西鉄電車まつり」は、工場内見学や電車の展示、運転台体験、車両洗浄体験、グッズ販売など多彩な催しがあり、22回目を迎えた今年は、柳川観光列車「水都」の運転開始などの話題に加えて好天に恵まれ、例年よりたくさんの来場者がありました。

今年から始まったジオラマとともに写真展コーナーにも大勢の家族連れや鉄道ファンらが詰め掛け、会員たちは写真を説明したり鉄道友の会をPRしたり対応。来場者に西鉄の面白さをアピールしていました。また、西鉄研究会の吉富代表の写真で制作された来年のカレンダーも売り出され人気を博していました。



西鉄電車カレンダー 2016

